



吉岡製油株式会社
代表取締役 吉岡 和広氏

食用油の製造・販売が主力、1969年創業、75年会社設立。資本金2000万円。従業員21人。売上高3億5000万円(2008年7月期)

業務用食用油の製造とリサイクル事業を手がける吉岡製油(埼玉県入間市)の吉岡和広社長は、古い経営体質からの脱皮を目指し、あんしん経営のMAS監査サービスを導入、中期経営計画を策定した。キャッシュフローが明確になり、社員の意識改革などにも役立っている。(2009年4月27日同社会議室にて)

シリーズ

中期経営計画で

企業が変わる!

Vol.7

資金繰りから解放 経営に専念できた

—— 食用油の製造からリサイクルまで一貫して手がけていますね。

吉岡 はい。当社の事業は、大きく二つに分けられます。まず、食肉の成型や加工段階で出る脂身を使って、業務用に使われるラードやヘットを製造しています。平釜で炊いて作る「吉岡ラード」は、「一度使ったらやめられない」とラーメン店さんなどから評判がいいんですよ。

もう一つは、食用油のリサイクルです。食品工場やコンビニエンスストアから使用済み食用油を回収、自社工場で飼

料などの原料として再生しています。

将来のキャッシュフローが 設備投資の判断に役立つ

—— 中期経営計画を策定されるようになったきっかけは?

吉岡 4年前に父から経営を引き継いだ際、勘頼みの経営からの脱皮を図りました。リサイクルの伴う産業廃棄物の取り扱い、3年間赤字が続くと、免許が取り消されてしまいますので、厳しい経営環境の中で生き残り、会社を発展させていくには、人・物・金の面で確かな判断材料が必要だと考えたのです。顧問税理士の山崎会計事務所さんから勧められ、中期5カ年計画立案セミナー(將軍の日)に参加、中期経営計画を策定するようになりました。

—— どんな効果がありましたか。

吉岡 キャッシュフローが明確になりました。工場の設備投資や車両購入の際など、借入れの額やタイミングが的確に図れ、資金繰りに追われず本業に専念できるようになりました。また、取引先との交渉や社員への説明を、自信を持って行えるようになりました。取引先に提示する金額の裏づけがとれるようになったことは大きいですね。予算と実績をもとに毎月会議を開

くことで、全社員で利益を上げる風潮が生まれました。なによりうれしいのは、会社の将来像が明確になったことで、社員が、自分たちの仕事は社会に必要な事業だという誇りを持つてくれるようになったことです。

中期計画には、会社発展の基礎となる第二工場の建設計画を盛り込み、全社一丸となって取り組んでいます。

しょうぐん日 將軍の日

この1日が企業の
更なる成長を約束!

- ☞ 専用システムを活用、わずか1日で経営計画書を作成!
- ☞ 5年間の損益・貸借・キャッシュフローを瞬時に確認し、何度でも徹底的なシミュレーションができる。
- ☞ 経営成長を目指す経営者のための、少人数制の実践セミナー(毎回6社限定)!

経営者・後継者のための

中期5カ年計画立案セミナー

- 東京会場 6月19日(金) 7月22日(水)
6月25日(木) 7月24日(金)
- 名古屋会場 6月19日(金)
7月22日(水)
- 大阪会場 6月9日(火) 7月9日(木)
6月12日(金) 7月24日(金)
- 福岡会場 6月12日(金)
7月15日(水)

【各回とも10:00~19:00 参加費52,500円(税込)】

プレゼント

企業の成長に不可欠な「経営計画」について解説した書籍「実践経営計画」をご希望の方全員に差し上げます。下記事務局までお問い合わせください。

運営:「あんしん経営をサポートする会」事務局
(株式会社MAP経営内)

TEL:03-5365-1500
e-mail:anshin@mapka.jp

ユーザーの声が聞ける!

「將軍の日」特設サイト
URL:www.shougun.jp

オープン

詳しくはWebで!!

將軍の日